

歴史資料館の活性化対策と子育て支援政策の充実を求む

三友 美恵子 議員



Q 「地域の歴史を学ぶ」ことは、命の大切さや、社会での自分の存在価値や未来について考えることにつながる。さらには、地域を愛する「心をはぐくむ」ことにも通じる。小学校における地域の歴史学習の現状と、歴史資料館の利用状況を

A 教育長 身近な歴史の学習は重要であり、来年

度、社会副読本の改訂作業に入る。現場の教員や地域の方、関係諸機関と検討し、さらによいものとしていく。歴史資料館は、文化センターの2階奥にあるが、現在、月・火・水曜日が休館日であり、来場者に不便をかけている。いろいろな工夫や努力の結果、今年度来館者が増加したが、さらに利用促進を図るためには、小中学生の来場者増加が鍵である。今後は、より一層

学校との連携を深めていく。**Q** 最近、街道がブームであり、例幣使道を歩く人が見受けられる。関係の資料館を例幣使道沿いにつくる考えはないか。**A** 教育長 歴史資料館は、すばらしい施設ではあるが、文化センターの奥にあるため、分かりづらい面もある。例幣使道沿いの民家を使うなどは検討に値すると思う。

Q 今後増加する保育ニーズに対する対策は。**A** 町長 延長保育・0歳児保育とも、今後改築される第3保育所でも行う。病後時保育については、今後検討していく。



玉村町歴史資料館

クリーンセンターの建設経過と現状、今後のあり方は

筑井 あけみ 議員



Q 人口も増え、建設経緯を知らない町民も多い。なぜ、優良な水田がある上福島に建設されたのか再確認する。

A 町長 各地域で反対賛成があり、苦勞の結果、当時の上福島で区長・区民全員の賛成があったと聞いている。

Q クリーンセンター主要プラント設備の耐用年

A 町長 耐用年数を延ばすよう、毎年数千円かけて維持しているが、金属疲労が見られるため、将来的には補修工事に数億円かかる。

Q 近い将来、プラント更新(修理)と、新たな施設を建設し、現施設を壊すことが考えられる。いず

A 町長 耐用年数を延ばすよう、毎年数千円かけて維持しているが、金属疲労が見られるため、将来的には補修工事に数億円かかる。

Q 第3保育所の建設は、

A 町長 5月の入札後に着手、平成22年2月に竣工予定である。

れも計画から建設まで10年かかる。今から長期の計画を立て、町民を交えた検討委員会を立ち上げるべきだが、町の考えは。

Q 北部公園サッカー場の年間利用日数は、全何日か。また、ランニングコースを整備するなど、年間を通していろいろなスポーツができるよう検討してはどうか。

A 町長 利用日数は、雨天中止などで28日だった。芝に適した他のスポーツも利用可能か、またランニングコースの整備も検討したい。



耐用年数が迫るクリーンセンター

新しい時代に対応する 社会教育の推進を

中里 知恵子 議員



A 町長 地産地消計画を策定し、食材の供給についても検討したい。

Q 食育推進事業に関しては「育」と同時に、安全な地産地消による「食」、つまり食材の供給システムの構築を農業・商業従事者と消費者である町民で図ることが肝要と考えるがどうか。

A 町長 生涯学習事業の成果に関する追跡調査及び学習成果の評価について検討したことがあるか。

Q 平成20年度、社会教育主事は欠員であったが、平成21年度はどうなるのか。

A 教育長 玉村町では平成17年度、19年度教育長 玉村町では第13号と4号を除いては

Q 教育委員会の職務権限として、地方教育行政組織及び運営に関する法律（第23条4項1号から19号）によると、保育所・幼稚園・児童館から、青少年教育、女性教育及び公民館事業その他社会教育に関する事務など、生涯学習関連事業に関わることになっているがどうか。

A 教育長 玉村町では第13号と4号を除いては、学校教育課と生涯学習課でそれらの事務を行っている。質問の第12号（*）については社会教育に関わることであり、諸事業を展開していく。これは教育委員会が管理し、執行しているものである。

*第12号「青少年教育、婦人教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること」



保育所の給食メニュー

県下No.1 町村としての気概と誇りを持って町を運営していこう！

原 幹雄 議員



A 町長 区長からの要望は総務課で受付、所管課に振り分けて対応している。結果や状況は、年2回、9月と2月の区長会で総務課でまとめて報告をしている。

Q 区長からの要望等はどのように管理しているのか。管理責任者による事後管理が必要と考えるがどうか。

A 町長 区長からの要望は総務課で受付、所管課に振り分けて対応している。結果や状況は、年2回、9月と2月の区長会で総務課でまとめて報告をしている。

Q 入札者のノウハウの事前評価と事後管理（特に、工事中のチェックや指導）はどのように行っているのか。



区長からの要望により、補修工事を行った町道

Q 平成20年度、社会教育主事は欠員であったが、平成21年度はどうなるのか。

A 教育長 配置したい。生涯学習及び社会教育の指導助言を担っていた。なお、主事の研修費を計上した。

Q 住民からの問い合わせに「担当がないので分からない」と安易に答えていないか。担当がいなくても一定レベルの回答が出せるような体制が必要だと考えるがどうか。

A 町長 常々、職員に對して「役場は最高のサービス業である」と言っており、対応をしっかりと行うよう指導している。徐々にではあるが成果が出

てきていると感じている。しかし、指摘の「体制の構築」という面はまだまだ改善余地が多いと思っている。